



平成14年11月19日

各位

会社名 アールビバン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳  
(登録銘柄 コード番号7523)  
問合せ先 総務部長 二宮 伸夫  
(TEL 03 - 3407 - 3371)

平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)  
通期業績予想との差異について

平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)の業績予想について、平成14年5月17日付決算短信発表時の通期(同)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成15年3月期の通期連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)連結業績予想との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	13,200	2,110	1,060
今回修正(B)	11,800	1,650	300
増減額(B-A)	1,400	460	760
増減率	10.6%	21.8%	71.7%

(2) 修正理由

売上高については、個別業績修正等により11,800百万円になる見込みです。

経常利益については、個別業績修正等により1,650百万円になる見込みです。

当期利益については、個別業績修正等により300百万円になる見込みです。

(3) ご参考:前期の連結実績(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
通期(13/4~14/3)	13,780	1,863	423

2. 平成 15 年 3 月期通期業績予想の修正等

(1) 通期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）業績予想との差異

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	10,000	770	380
今 回 修 正 (B)	8,500	230	290
増 減 額 (B - A)	1,500	540	670
増 減 率	15.0%	70.1%	-

(2) 修正の理由

売上高については、当下半期におきましても個人消費は雇用不安や所得減少の影響を受けて引き続き低迷するなどデフレ不況が継続し低調に推移するものと予想されます。このため通期の売上高は8,500百万円となる見込みです。

経常利益については、売上高の低迷により催事のコストパフォーマンス重視による効率化を図り会場費、広告宣伝費等の圧縮に努める所存ですが、減収による利益の減少を埋めることができず、230百万円となる見込みです。

当期利益については、有価証券評価損453百万円の特別損失計上等もあり、290百万円となる見込みです。

(3) ご参考：前期の実績（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
通 期 (13/4～14/3)	10,509	761	83

（注）平成 15 年 3 月期の中間業績予想（連結、個別）の差異については、平成 14 年 11 月 12 日に開示しております。

以 上